



VSC、VASA Provider、 SRA仮想アプライアンスの問題のトラブルシ ューティング

VSC, VASA Provider, and SRA 9.7

NetApp
March 21, 2024

目次

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの問題のトラブルシューティング	1
ログファイルを収集します	1
ボリューム数が多いとVVolデータストアのプロビジョニングが失敗する	1
アップグレード後に仮想マシンストレージポリシーを編集するときに問題を使用する	2
vCenter Server GUIでVASA Providerのステータスが「オフライン」と表示される	2
仮想アプライアンスのVSCの概要ページにアクセス中にエラーが発生しました	3
ネットワーク設定の変更後にデータストアの削除でエラーが発生しました	3
仮想マシンのプロビジョニングが不明なエラーで失敗する	4
ONTAP 9.4ストレージシステムでVVolのシックプロビジョニングが失敗する	5
ボリュームステータスがオフラインになるとデータストアにアクセスできなくなります	5
IPv4を使用してストレージシステムを追加すると、ストレージシステムグリッドに IPv6と表示されて認証エラーが発生します	6
VVolデータストアに仮想マシンをプロビジョニング中にファイル作成エラーが発生しました	6
SRMでSRAのステータスが「Failover in Progress」と誤って報告されます	7

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの問題のトラブルシューティング

Virtual Storage Console (VSC)、VASA Provider、Storage Replication Adapter (SRA) 仮想アプライアンスの設定中または管理中に予期しない動作が発生した場合は、特定のトラブルシューティング手順に従って、原因の問題を特定し、解決することができます。

ログファイルを収集します

Virtual Storage Console for VMware vSphereのログファイルは、VSCのグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) のオプションを使用して収集できます。テクニカルサポートに問題のトラブルシューティングを依頼すると、ログファイルの収集を求められることがあります。

このタスクについて

VASA Providerのログファイルが必要な場合は、* Vendor Provider Control Panel *画面からサポートバンドルを生成できます。このページは VASA Provider のメンテナンスメニューの一部で、仮想アプライアンスのコンソールからアクセスできます。

https://vm_ip:9083

VSC GUI の「VSC ログのエクスポート」機能を使用して、VSC のログファイルを収集できます。VASA Provider を有効にして VSC ログバンドルを収集すると、VSC ログバンドルに VP ログも含まれるようになります。VSC のログファイルを収集する手順は次のとおりです。

手順

1. Virtual Storage Consoleのホームページで、メニューをクリックします。Configuration [Export VSC Logs]。

この処理には数分かかることがあります。

2. プロンプトが表示されたら、ローカルコンピュータにファイルを保存します。

その後'.zipファイルをテクニカル・サポートに送信できます

ボリューム数が多いとVVolデータストアのプロビジョニングが失敗する

問題

6個を超えるボリュームを使用してVVolデータストアをプロビジョニングしようとする、VVolデータストアのプロビジョニングが失敗する。

原因

VSCとVASA Providerの間のソケットタイムアウトが原因でVVolデータストアのプロビジョニングが失敗する。

対処方法

ボリューム数が6つ未満のVVolデータストアを作成するか、またはプロビジョニング後にvVolデータストアのサイズを拡張する* Expand VVol Datastore *オプションを使用します。

アップグレード後に仮想マシンストレージポリシーを編集するときに問題を使用する

Virtual Storage Console (VSC) 、 VASA Provider、 Storage Replication Adapter (SRA) 仮想アプライアンス7.0からVSC、 VASA Providerの最新バージョンにアップグレードしたあと、 SRAでは、新しいストレージ機能プロファイルを設定する前に既存のVMストレージポリシーを編集しようとする、 「There are incorrect or missing values below」 というエラーメッセージが表示される場合があります。

原因

このエラーは、新しいストレージ機能プロファイルを1つも作成していない場合に発生することがあります。

対処方法

次の手順を実行する必要があります。

1. VMストレージポリシーの編集を中止します。
2. 新しいストレージ機能プロファイルを作成します。
3. 必要なVMストレージポリシーを変更します。

vCenter Server GUIでVASA Providerのステータスが「オフライン」と表示される

VASA Providerサービスを再起動すると、vCenter Server GUIにVASA Provider for ONTAP のステータスが「オフライン」と表示されることがあります。

回避策

1. Virtual Storage Console (VSC) 、 VASA Provider、 Storage Replication Adapter (SRA) 仮想アプライアンスからVASA Providerのステータスをチェックし、 VASA Providerがアクティブであることを確認する。
2. vCenter ServerのVSCページで、 次のメニューに移動してVASA Providerが有効になっていることを確認します。 Configuration [Manage Extensions]。
3. vCenter Serverで'/var/log/vmware/vmware-SPS /SPS .logファイルでVASA Providerとの接続エラーがないかどうかを確認します

4. エラーが発生した場合は'VMware-sSP'サービスを再起動します


仮想アプライアンスのVSCの概要ページにアクセス中にエラーが発生しました

Virtual Storage Console (VSC) 、 VASA Provider、 Storage Replication Adapter (SRA) 仮想アプライアンスの導入後にVSCの概要ページにアクセスしようとする
と、「/opt/netapp/vscserver/etc/vsc/performance.json (No such file or directory) 」 というエラーメッセージが表示される場合があります。

説明

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの導入後にVSCダッシュボードにアクセスしようすると、スケジューラの初期化プロセスが完了していないためにエラーが発生することがあります。

回避策

仮想アプライアンスの導入後、パフォーマンススケジューラの初期化プロセスが完了するまで数秒待ってから、をクリックします  ボタンをクリックして、最新のデータを取得します。

ネットワーク設定の変更後にデータストアの削除でエラーが発生しました

問題

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスのIPアドレスを変更すると、VSCインターフェイスを使用して特定の処理を実行しようするとエラーが表示されます。たとえば、データストアを削除しようとしたときやESXiホストのVASA Providerサーバにアクセスしようとしたときです。

原因

vCenter Serverは更新されたIPアドレスを使用せず、古いIPアドレスを使用してVASA Providerを呼び出します。

対処方法

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスのIPアドレスを変更した場合は、次の作業を行います。

1. vCenter ServerからVSCの登録を解除します。
2. [https://<vcenter_ip>/mob`](https://<vcenter_ip>/mob)にアクセスします
3. メニューをクリックします。[Extension Manager]>[Unregister Extension]>[Unregister All com.netapp.extensions] (すべての登録を解除)。
4. puttyを使用して、vCenter Serverにrootとしてログインします。
5. 次のコマンドを使用して、vsphere-client-serenityディレクトリに移動します。cd /etc/vmware/vsphere-client/vc-packages/vsphere-client-serenity

6. 「vsphere-client stop」を使用して、vSphere Client:サービスを停止します。
7. UI拡張機能が含まれるディレクトリを削除します: `rm -rf com.netapp*`
8. 「vsphere-client start」を使用して、vSphere Client:サービスを開始します。

vSphere Clientが再起動して正常に初期化されるまで数分かかることがあります。

9. 次のコマンドを使用して、vsphere-ui serenityディレクトリに移動します。 `/etc/vmware/vsphere-client-packages/vsphere-client-serenity /`
10. 「vsphere-ui stop」を使用して、vSphere UI:サービスを停止します。
11. UI拡張機能が含まれるディレクトリを削除します: `rm -rf com.netapp*`
12. 「service-control --start vsphere-ui」を使用してvSphere UIを起動します。

仮想マシンのプロビジョニングが不明なエラーで失敗する

作成、クローン、電源オン、電源オフ、サスペンドなどの仮想マシンのプロビジョニング操作 VVOLデータストアのVMストレージプロファイルの移行および更新が、問題がVASA Providerに対応しているかVMwareに対応していないタスクマネージャで一般的なエラーメッセージが表示されて失敗する場合があります。

問題

タスク・マネージャには指定された要件に対応するボリューム候補の中に適切なボリュームが見つかりませんでしたなどのエラーメッセージが表示されます

原因

VMware、VASA Provider、またはONTAP ストレージの問題が原因でエラーが発生することがあります。エラーメッセージには失敗の具体的な理由が表示されない場合があります。また、多数のStorage Virtual Machine (SVM)、ボリューム、LUNを含む大規模なストレージシステムが原因の場合もあります。問題このようなストレージシステムではバックグラウンドでの定期的な検出処理に時間がかかり、仮想マシンのプロビジョニング処理が同時に実行された場合に原因 によるプロビジョニング処理のタイムアウトになる可能性があります。

対処方法

1. `/opt/NetApp/vpserver/logs/error.log`、「`vvolvp.log`」、および「`zapi_error.log`」のログファイルを調べて、問題 がVASA ProviderまたはONTAP ストレージに格納されているかどうかを確認します。
 - 「`NaException com.netapp.offtap3.ontap.ApiFailedException:`」などのエラーが発生した場合、指定された要件のボリューム候補の中に適切なボリュームが見つかりませんでした。詳細: vVolの配置: タイプ: 候補ボリュームを配置: `vvol_nfs_pb2`, `vvol_nfs_pb1`パフォーマンス: 最大IOPSサイズ: 4GBスペースギャランティ: `False` Volumes with insufficient un約束IOPS: `vvol_nfs_pb1`, `vvol_nfs_pb2` result: success (errno=13001) 'などの対処方法が報告されます。ストレージ管理者のサポートに必要なストレージIOPSを追加します。
 - プロビジョニング処理は、バックグラウンドで検出処理が実行されていないときにのみ実行する必要があります。VASA Providerのログファイルに報告されているエラーが具体的でない場合は、テクニカルサポートに連絡して問題 を解決する必要があります。

2. VASA Providerのログファイルに具体的なエラーが報告されていない場合は、「SPS .log」ログファイルを調べて、問題 がVMwareに対応しているかどうかを確認し、報告されたエラーに基づいて適切な修正措置を取ります。

SPSログ・ファイルに報告されているエラーが固有でない場合はVMware管理者に連絡して問題 を解決する必要があります

ONTAP 9.4ストレージシステムでVVolのシックプロビジョニングが失敗する

ONTAP 9.4ストレージシステムでは、Virtual Volume (VVol) データストアにシックプロビジョニングされたFlexVol がない場合、VVolのシックプロビジョニングが失敗します。

問題

VVolのプロビジョニング中に、次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

```
com.netapp.vasa.vvol.exceptions.OutOfResourceException: Unable to find a
location
for a vvol of size 4,096 in storage container vvol_nfs_new - Checked 1
places.
Specific reasons were vvol_nfs_new | Final Score: 0 | 100 -> 0 : FlexVol
of
vvol_nfs_new does not support required storage profile, details
[FlexVolume with
name vvol_nfs_new is not thick provisioned]
```

原因

このエラーは、VVolにシックプロビジョニングされたFlexVol がない場合に発生します。

解決策

1. シックプロビジョニングが有効なストレージ機能を適用した新しいFlexVol をVVolに追加します。
2. FlexVol ボリュームを使用して新しい仮想マシンを作成します。

ボリュームステータスがオフラインになるとデータストアにアクセスできなくなります

問題

データストアのボリュームがオフラインになると、データストアにアクセスできなくなります。ボリュームをオンラインに戻しても、VSCはデータストアを検出できません。vSphere Clientでデータストアを右クリックすると、VSCの操作は実行できません。

原因

ボリュームをクラスタからオフラインにすると、まずボリュームがアンマウントされ、その後オフラインになります。ボリュームがオフラインになってデータストアにアクセスできなくなると、ジャンクションパスは削除されます。ボリュームがオンラインになってもジャンクションパスは使用できず、デフォルトではマウントされません。これはONTAPの動作です。

対処方法

ボリュームをオンラインに戻し、以前と同じジャンクションパスを使用してボリュームを手動でマウントする必要があります。ストレージ検出を実行して、データストアが検出されたこと、およびデータストアのアクションを使用できることを確認できます。

IPv4を使用してストレージシステムを追加すると、ストレージシステムグリッドにIPv6と表示されて認証エラーが発生します

問題

IPv4アドレスを使用して追加したストレージシステムに対して、ストレージシステムグリッドにIPv6アドレスと認証エラーが表示されます。

原因

IPv4 LIFとIPv6 LIFを備えたデュアルスタックストレージシステムをIPv4 LIFを使用して追加した場合、VSCの定期的な検出プロセスでIPv6 LIFも検出されます。IPv6 LIFは明示的に追加されていないため、このIPv6の検出は認証エラーで失敗します。このエラーは、ストレージシステムに対して実行される処理には影響しません。

対処方法

次の手順を実行する必要があります。

1. VSCのホームページで、* Storage Systems *をクリックします。
2. IPv6アドレスでステータスが不明なストレージシステムをクリックします。
3. 設定されているデフォルトクレデンシャルを使用して、IPアドレスをIPv4に変更します。
4. [リストに戻る*]をクリックし、[すべて再検出*]をクリックします。

ストレージシステムのリストから古いIPv6エントリが削除され、ストレージシステムが認証エラーなしで検出されます。

VVolデータストアに仮想マシンをプロビジョニング中にファイル作成エラーが発生しました

問題

デフォルトのStorage Virtual Machine (SVM)、またはIPv6とIPv4の両方のデータLIFが設定されたmixed形式のStorage Virtual Machine (SVM) を使用して、仮想マシンを作成できません。

原因

問題 は、デフォルトのvs0にはIPv6とIPv4の両方のデータLIFがあり、IPv4のみのデータストアではないために発生します。

対処方法

vs0を使用して仮想マシンをプロビジョニングするには、次の手順を実行します。

1. System Managerアプリケーションを使用して、すべてのIPv6 LIFを無効にします。
2. クラスタを再検出します。
3. プロビジョニングが失敗したVVolデータストアで仮想マシンをプロビジョニングしてください。

仮想マシンのプロビジョニングが完了しました。

SRMでSRAのステータスが「Failover in Progress」と誤って報告されます

問題

新しいSnapMirrorデバイスについて、VMware Site Recovery Manager（SRM）でデバイスのステータスが「実行中」と表示されます。

原因

この問題 は、「/opt/NetApp/vpserver/conf/devices.txt」ファイルに新しく作成したデバイスと同じデバイス名のエントリがあることが原因で発生します。

対処方法

新しく作成したデバイスに一致するエントリを、両方のサイト（サイトAとサイトB）の/opt/NetApp/vpserver/conf/devices.txtから手動で削除し、デバイスの検出を再実行する必要があります。検出が完了すると、デバイスに正しいステータスが表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。